

2023年度 研究センター事業報告書

研究センター名	東アジア平和協力研究センター
---------	----------------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究センターの実施した全ての研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなうだけでわかりやすく記述してください。

2023年、事業5年目を迎え、国際シンポジウムの開催や研究会開催など研究交流事業と出版プロジェクトを実施し、韓国の国策研究機関等と2件のMOUを締結した。MOU締結を機に台湾との研究交流やアメリカの研究機関などと積極的な交流を行い、関西圏の東アジア研究交流のハブとしての役割を果たせられる基盤作りに成功した。

【他研究機関とのMOU締結】 ●ソウル大学 統一平和研究院 ●韓国対外経済政策研究院 (KIEP)

【国際シンポジウム及び研究会】 9件

●国立政治大学（台湾）－立命館大学－韓国外国語大学共催 安保ワークショップ（3.22）

米中間対立が台湾・韓国・日本に与える安保関連の影響に対する熟考と4次産業革命など産業形態の変化が米中間対立及びインド太平洋地域の安保に与える影響に対する学術交流

●CSCS研究会 The Yoon-Kishida Summit: A Japanese Perspective（4.8）

日本の安保戦略と日韓関係、日本のインド太平洋戦略と日韓関係、日本のユン大統領に対する評価や認識などを主題に学術交流を行った。

●PINO Forum（世界環境社会ガバナンス学会（WAIS）と共催）（6.7-6.8）

世界各国の島を中心とする国際平和と人権外交のための協議リーダーシップの共有、そしてUNESCO環境保護のための行動の次元で若手研究者のネットワーク外交を促進するための特別研究大会も並行

●高位級脱北者招聘研究会（6.23、11.10）

北朝鮮の外交高位関係者として一家とともに1998年脱北した金ドンス博士による北朝鮮内部エリート層の動向と内部構造の動向に対する分析を共有。立命館大学学部生を対象とする特別講義も並行

●第7回日韓安保戦略対話（7.5）

毎年、韓国の著名な専門家と日韓両国の政治及び国家行政分野で活躍しているエリートらを招聘、意見交換・政策提言

●Conference on South Korea-Japan-United States Trilateral Relations in a New Geopolitical Context（8.22）

ソウル大学統一平和研究院と共同進行をしているアメリカでの研究交流プロジェクト。アメリカの韓国学・東アジア関連学会及び研究所を開設している大学と研究交流会進行。

●Roundtable on Japan-South Korea-United States Trilateral Relations in Changing Asia（8.23）同上

●New Horizons for Japan-Korea Relations（10.20）

日韓両国関係の現場で活躍した日韓両国の元実務担当者らを招聘、意見交換・学術的分析進行

●Perspectives for cooperation of Japan and South Korea to stabilize the volatile security situation, Bilateral and Multilateral aspects（11.16-17）

日本・韓国・EUの専門家を招聘し、北東アジアの安定とNATO、EUの貢献、経済安保、Cybersecurityなどについて学術交流を進行

【出版プロジェクト】

●Oral-History 記法を適用させた脱北者証言を学術書出版 出版予定未定

●『韓国語セカイを／に生きる』／『韓国とつながる』（仮）出版プロジェクト 2024年中 出版予定

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2024年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、必ず若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位	
センター長	中戸 祐夫	国際関係学部	教授	
運営委員	中達 啓示	国際関係学部	特任教授	
	渡辺 宏彰	国際関係学部	教授	
	君島 東彦	国際関係学部	教授	
	廣野 美和	グローバル教養学部	教授	
	松野 周治	経済学部	名誉教授	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	中川 涼司	国際関係学部	教授	
	駒見 一善	国際教育推進機構	准教授	
	大久 保史郎	法務研究科	名誉教授	
	勝村 誠	政策科学部	特命教授	
	伊藤 弘太郎	共通教育推進機構	客員准教授	
	宋 基栄	経営学部	授業担当講師	
	フレンチ・トーマス	国際関係学部	准教授	
	崔 正勲	立命館アジア・日本研究機構	助教	
学内の若手研究者	専門研究員 研究員 初任研究員			
	補助研究員・リサーチアシスタント	馬場 一輝	国際関係研究科	博士課程後期課程
	大学院生	SUH Sunghyun	国際関係研究科	博士課程後期課程
	学振特別研究員 (PD・RPD)			
	その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・ 博士前期課程院生等)			
客員協力研究員	関 智君	東アジア平和協力件研究センター	客員研究員	
	浅羽 裕樹	東アジア平和協力件研究センター	客員研究員	
	Lee Kyu Yub	東アジア平和協力件研究センター	客員研究員	
	安 仁海	東アジア平和協力件研究センター	客員研究員	
	申 宰泳	東アジア平和協力件研究センター	客員研究員	
	森 類臣	東アジア平和協力件研究センター	客員研究員	
センター構成員	計 22 名	(うち学内の若手研究者 計 2 名)		

Ⅲ. 研究業績（公開項目） ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2024年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	廣野 美和	岐路に立つアジアの未来：平和と持続的な繁栄を実現するための日本の戦略	分担執筆	2023.07	『アジアの未来』研究会	添谷芳秀/マイク望月（共同代表）他8人	
2	廣野 美和	グローバルガバナンスにかかわる中国の関連構想と行動	その他	2023.11.10	『「強国」建設に向けた中国の戦略』経団連・21世紀政策研究所		pp.49-66

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	中戸 祐夫	北朝鮮「核ドクトリン」の形成とその影響—ネオクラシカル・リアリズムの視点から	単著	2023.11.30	『現代韓国朝鮮研究』（現代韓国朝鮮学会）23		pp.1-14	有
2	渡辺 宏彰	日本における労働市場改革と労働組合の弱体化—イタリアとの相違	単著	2023.09	『日本労働研究雑誌』758		pp.4-17	有
3	君島 東彦	メアリー・カルドアという補助線—憲法平和政策の予備的考察	単著	2023.05.03	『水嶋朝徳先生古稀記念 自由と平和の構想力—憲法学からの直言』（日本評論社）所収	愛敬浩二ほか	pp.170-184	有
4	君島 東彦	憲法の平和構想	単著	2023.06.20	『平和学事典』（丸善出版）	日本平和学会	pp.14-19	無
5	君島 東彦	東アジアの平和をどのように準備するか	単著	2023.10.05	『法と民主主義』（日本民主法律家協会）、(582)		pp.4-7	有
6	廣野 美和	中国によるミャンマーへの関与—不干涉原則の現実と認識	単著	2023.07.31	『アジア研究』（アジア政経学会）、(69)3		pp.55-70	有
7	中川 涼司	香港経済の行方—中国経済へのゲートウェイ機能の低下と地政学リスク上昇の中で	単著	2023.08.01	『東亜』（一般財団法人霞山会）、(674)		pp.2-9	有
8	勝村 誠	日本の学界における安重根研究の課題—史料の発見と研究動向を中心に	単著	2023.11.17	安重根義士探還韓・中民間常設委員会、安重根義士探還の経過と課題		pp.39-60	有

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	中戸 祐夫	The Yoon-Kishida Summit: A Japanese Perspective	2023.04.07	Center for Strategic and Cultural Studies Workshop, CSCS	
2	中戸 祐夫	U.S.-ROK-Japan Cooperation: A Japanese View	2023.11.22	「朝鮮半島停戦70周年及び朝鮮半島情勢発展動向」、吉林大学	
3	中戸 祐夫	The Politics of Japan-Korea Trade Conflict: Were Japan's 'Economic Sanctions' Effective?	2023.12.01	Annual Conference of Chinese Association of Korean Studies, 中国文化大学（台北）	
4	渡辺 宏彰	From neoliberal deregulation to worker protection? Labour market reforms in Japan	2023.05	Flex or Tenure Conference、International Institute of Social History	

		since the 1990s			
5	渡辺 宏彰	The characteristics of labor market reforms in Japan since the 1990s	2023.09	American political Science Association Annual Conference, American Political Science Association	
6	君島 東彦	Building Blocks for an East Asian Security Community	2023.03.24	Regional Security Risks in East Asia in the Context of Sino-US Competition Conference、National Chengchi University	渡辺宏彰
7	君島 東彦	東アジア共通の安全保障をどのように準備するか	2023.06.24	日韓ジョイントセミナー「東アジアにおける紛争、予防、早期警戒」、立命館大学大阪いばらきキャンパス	
8	廣野 美和	グローバルガバナンスにかかわる中国の関連構想と行動	2023.07.03	シンポジウム『『強国』建設に向けた中国の戦略、21世紀政策研究所	
9	廣野 美和	Seminar on Geopolitical Competition in Energy Transition: Perspectives of China, Japan, and the Global South	2023.09.29	Global China Studies Series、立命館大学衣笠キャンパス	
10	廣野 美和	Public Roundtable "Australia-Japan Cooperation & Indo-Pacific Minilateralism"	2023.11.08	Public Roundtable "Australia-Japan Cooperation & Indo-Pacific Minilateralism"、立命館大学アジア・日本研究所	
11	廣野 美和	China-Japan-South Korea Minilateralism	2023.11.12	Enhancing Australia-Japan Cooperation: New Approaches to Minilateralism、日本国際政治学会	

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	【韓国語セカイを／で生きる】第1回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年5月	11	
2	【韓国語セカイを／で生きる】第2回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年6月	9	
3	【韓国語セカイを／で生きる】第3回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年6月	10	
4	【韓国語セカイを／で生きる】第4回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年7月	9	
5	【韓国語セカイを／で生きる】第5回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年7月	9	
6	【韓国語セカイを／で生きる】第6回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年7月	10	
7	【韓国語セカイを／で生きる】第7回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年8月	7	
8	【韓国語セカイを／で生きる】第8回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年8月	12	
9	【韓国語セカイを／で生きる】第9回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年8月	6	
10	【韓国語セカイを／で生きる】第10回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年9月	9	
11	【韓国語セカイを／で生きる】第11回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年9月	10	
12	【韓国とつながる】第1回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年10月	12	
13	【韓国とつながる】第2回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年10月	12	
14	【韓国とつながる】第3回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年11月	7	
15	【韓国とつながる】第4回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年11月	8	
16	【韓国とつながる】第5回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年11月	7	

17	【韓国とつながる】第6回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年11月	9	
18	【韓国とつながる】第7回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年12月	8	
19	【韓国とつながる】第8回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年12月	6	
20	【韓国とつながる】第9回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年12月	6	
21	【韓国とつながる】第10回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2023年12月	8	
22	【韓国とつながる】第11回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2024年3月	7	
23	【韓国とつながる】第12回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2024年3月	5	
24	【韓国とつながる】第13回研究会	立命館大学衣笠キャンパス/zoom	2024年3月	10	
25	The Islands Collaborative Leadership of Peace Island Network Organization in a Schism Era	立命館大学衣笠キャンパス	2023年6月	22	World Association for Island Studies
26	The Analysis on the Present Overall Situation in North Korea	立命館大学衣笠キャンパス	2023年6月	50	
27	日韓安全保障戦略対話	韓国領事館	2023年7月	30	
28	朝鮮戦争と日本について考える	ZOOM	2023年10月	50	立命館大学コリア研究センター、立命館大学アジア・日本研究促進プログラム
29	NEW HORIZONS FOR JAPAN-KOREA RELATIONS	立命館大学衣笠キャンパス	2023年10月	7	
30	The Current North Korean Situation and Prospects of Strategic Policy Line of the Regime	立命館アジア太平洋大学	2023年11月	50	
31	Perspectives for cooperation of Japan and South Korea to stabilize the volatile security situation, Bilateral and multilateral aspects	衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム	2023年11月	18	
32	Risk Governance in Northeast Asia	立命館大学衣笠キャンパス	2024年1月	17	檀国大学校融合社会研究所
33	台湾総統選挙と中台関係 対中イメージの影響	立命館大学衣笠キャンパス	2024年1月	10	
34	近年の日本の北朝鮮研究動向	立命館大学衣笠キャンパス	2024年2月	10	
35	地域文化の理解と日本学研究—東アジアにおける安保環境の変化と対応	立命館大学衣笠キャンパス	2024年2月	20	漢陽大学大学院日本語文化研究学科

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）

No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
なし				

6. 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
なし					

7. 科学研究費助成事業（科研費）

No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割

